大船渡土木センター
震災復旧・復興情報　かわら版

Vol. 7

平成25年7月31日発行　大船渡土木センター
◇ HPアドレス　http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?ik=3&nd=1395

1．指定確認検査機関の建築確認申請受付窓口開設について

平成25年７月３日(水)に大船渡土木センター内へ**建築確認申請受付窓口を設置**しました。
当窓口は自立再建等に伴う確認申請件数増加に対応するために、**指定確認検査機関として岩手県沿岸部に初めて設けられ**、建築確認審査の迅速化を図り復興を側面的に支援することを目的としています。
また、被災者については県と同様に建築確認申請手数料を免除します。

○ 窓口受付日及び窓口設置場所

・毎週**水曜日**の午前10時から午後４時まで
（平成25年７月３日 ～ 平成26年３月31日）
・大船渡地区 県合同庁舎内 ４階事務室
（大船渡市猪川町字前田6-1）

○ 設置者及び申請受付範囲

・(財)岩手県建築住宅センター　確認評価室
（※指定確認検査機関）
➩ 電話　019-623-4420
➩ 大船渡地区窓口専用　080-8213-7978

・建築確認申請受付範囲
➩ 建築基準法第６条第１項４号に掲げる建築物のうち、手数料免除を伴うもの。

2．陸前高田市『奇跡の一本松』完成式典について

東日本大震災津波により被災した陸前高田市高田松原の「奇跡の一本松」保存事業の完成式典が、関係者参集のもと平成25年７月３日（水）現地にて開催されました。
奇跡の一本松は同日から１年間、夜間のライトアップ（21時まで）が予定されています。

※完成式典状況

○ 高田松原・奇跡の一本松の概要等

・高田松原は後背地の農地を塩害や飛砂、洪水等から守るため、約350年前（江戸時代）に造林されたものです。
・被災前の高田松原には約70,000本の松が植えられ、国立公園、名称、白砂青松100等に指定される東北最大の海水浴場でした。
・3.11津波により約70,000本の松が「奇跡の一本松」を残し全て流出。
・地下水への海水進入により松の根が腐り枯死が確認された。
・倒壊の恐れが危惧されたことから、防腐処理を施工のうえ現地に復元することを決定。
・保存事業に要する費用の募金は目標額を達成しました。

※ライトアップ状況

3．海岸関係事業の取組状況

大船渡市三陸町の「越喜来地区海岸」及び「下甫嶺地先海岸」において、工事着手に先立ち地元復興委員会等の関係者により安全祈願祭を開催しました。安全祈願祭では玉串奉奠等の神事により工事の無事故や早期完成を祈願しました。
両海岸とも被災前の防潮堤高さを被災前の7.9ｍから11.5ｍに嵩上げし、附帯する水門や取付道路等を併せて整備する予定です。

位置図

《 防潮堤整備の考え方 》※両海岸とも同様

単位：m （T. P.）

地域海岸名	今次津波痕跡高	設計津波		設計津波の水位による堤防高設定	[設計津波の水位による堤防高設定]>[被災前計画高]のチェック	地域海岸内堤防高	被災前計画堤防高
		対象津波	設計津波の水位				
越喜来湾	16.9	昭和三陸地震	10.5	11.5	○	11.5	7.9

《 防潮堤復旧工事の概要 》

	復旧延長	防潮堤延長	計画高	工事費	備考
越喜来海岸	947.5 m	895.0 m	T.P.+11.5 m	約51億円	人エリーフ1式、水門2基
下甫嶺海岸	373.0 m	322.0 m	T.P.+11.5 m	約22億円	水門2基

※T.P.とは、全国の標高の基準となる海水面の高さのこと。
東京湾の平均潮位をもとに定められており、「東京湾中等潮位」とも呼ばれる。

復旧イメージ図（越喜来）

復旧イメージ図（下甫嶺）

玉串奉奠（越喜来）

平成25年７月19日(金)

神事状況（下甫嶺）

平成25年７月18日(木)

❏❏ かわら版に関する問合せ先 ❏❏

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター復興まちづくり課（分庁舎）
TEL：(本庁舎) 0192-27-9919、(分庁舎) 0192-26-1951 ◇E-mail：ＢG0005@pref.iwate.jp